

灯台活用の拡大に向けて

事務局が提案した議論の方向性

灯台の魅力の
発信のあり方

受入のための工夫

地域における
連携のあり方

議論の方向性の整理

情報発信

- ・ どのような方法で発信するか
 - ・ どのような内容を発信するか
- ※若者に興味を持ってもらうための
情報を含む

地域連携

- ・ 地域連携の枠組み
- ・ 文化財や観光コースとしての活用
- ・ 若者が親しみを持つような新たな活用

今後の検討事項

第1回懇談会の主なご意見

灯台の魅力・価値

情報発信

若者の取り込み

地域連携

その他

1. 情報発信について

- ①どのような方法で発信するか
- ②どのような内容を発信するか

2. 地域連携について

- ①地域連携の枠組み
- ②文化財や観光コースとしての活用
- ③若者が親しみを持つような新たな活用

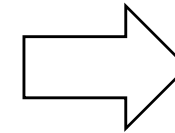
- 灯台に関する情報を掲載しているサイトを探さなければならない。
- もっと簡単に情報を掴めるような仕組みがあると助かる。

課題

- 知りたい情報へのアクセスを容易にする。
- 全国の灯台に関するイベント情報等を探しやすくする。

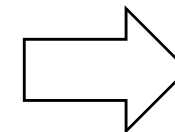
必要な方策の検討

○ 情報掲載の手法を改善



情報を一本化する
ポータルサイト

○ イベント情報等の集約



全国イベント情報の
リストアップ

具体的な方策（案）

- 複数のホームページに分散して掲載されている灯台に関する様々な情報へのアクセスを容易にするため、入り口となるポータルサイトを設ける。
- 全国の灯台で開催されるイベント情報等を集約して掲載する。
- インバウンド観光客等へのアピール性を向上させるためWEB情報の多言語化を進める。
- 各地域の観光紹介ホームページ等に灯台観光に関する情報のリンクを張るなど、灯台情報への入り口の多様化を図る。
- メディアへの働きかけ。

- 視認性の高さ、歴史的な流れ、そのものの美しさなどの魅力要素がある。
- 灯台周辺の施設等も活用することで、地域全体の活性化につながっていく。

課題

- 灯台の持つ様々な魅力を伝えきれていない。
- 灯台の情報と灯台周辺の観光施設等の情報が旨く繋がっていない。

必要な方策の検討

- 来訪者の意見も踏まえ、歴史の流れ、建築物としての価値、インフラとしての重要性など灯台に関する情報を充実させる。



初代 観音埼灯台
(神奈川県横須賀市)



水銀槽式回転機械

- 灯台の情報ページと周辺地域の観光情報ページを相互にリンクさせるなどの工夫をする。



銚子音楽祭 in 犬吠埼灯台 (銚子市)



わらじ祭り (志摩市)

具体的な方策（案）

- 灯台の有する歴史的価値に鑑み、灯台全体の歴史的流れや個々の灯台が有する歴史的トピック（地域の郷土史や灯台守と地域の係わりなども含む）に関する情報を充実させる。
- 灯台の建造物としての高い価値やインフラとしての重要性に関する情報を充実させる。
- 灯台の情報にリンクして灯台周辺地域の観光施設、お祭り等の情報を発信する。
- 灯台そのものの情報に加え、鑑賞できる風景や撮影できるシーンなど灯台に行くことで得られる体験を伝える。また、映画やドラマ等の撮影シーンで活用されている事例などを紹介する。
- 灯台デジタルカードを充実させる。

- 灯台の活用については、灯台の所有者や管理者の取組だけでは限界がある。
- 地域活性化のためには単独の取組ではなく、地域の種々の主体が連携した多様な取組が必要ではないか。

課題

○ 灯台を活用した地域活性化のためには、灯台活性化のための地域の関係者による枠組みを作り、多様な取組を推進することが有効ではないか。

具体的な方策（案）

- 地域の特性を活かし、市町村等を中心に、地域の商店街、NPO、観光事業者、灯台の関係団体、地元海上保安部等の関係者による協議会等を組織。
- 既存の観光・地域活性化の協議会や、文化財保護法の協議会を活用することも検討。

■ 灯台だけでなく周辺地域の魅力を上げる必要がある。

課題

- 灯台の文化財としての価値を確認し、地域のシンボル化を図る。
- 灯台周辺の観光コースとしての価値を高める。

必要な方策の検討

○ 歴史的に特に価値の高い灯台について重要文化財等の文化財指定を推進する。



登録有形文化財となっている灯台の例

○ 公園化やアクセス改善を図り、サイクリングコース等としての活用を促進する。



ウォーキングイベントのコースに活用 細島灯台（宮崎県日向市）

具体的な方策（案）

- 歴史的価値の特に高い灯台については、重要文化財等の文化財指定を推進し、文化財である灯台を地域のシンボルとして位置付け、新たな人の流れを創出する。また、地域と連携した適切な保存と積極的な活用を図ることにより、より一層の地域連携の強化を図る。
- 灯台周辺の公園化など灯台敷地を含めた周辺の土地利用を促進するとともに、灯台へのアクセス改善を図り、サイクリングコースやハイキングコースのゴール地点など、地域とともに観光を楽しむランドマークとしての活用を促す。

■地域活性化のためには特に若者の取り込みが必要である。

課題

○若者の興味をそそる灯台プラスアルファの魅力を付加する。

必要な方策の検討

○地域と一緒に造るデザイン灯台化やアートペイントの付加等を推進する。



大槌港灯台（岩手県大槌町）



湯島灯台（熊本県上天草市）

○3Dマッピング等の意外性のあるイベント開催を推進する。



みさきナイトフェスタでの恋占い
出雲日御碕灯台（島根県出雲市）



灯台でのプロジェクションマッピング
祿剛埼灯台（石川県珠洲市）

具体的な方策（案）

- 若者や灯台に馴染みのない人を新たに引き寄せるため、今後、新たに建替やリニューアルを行う灯台について、子供たちを中心に地域住民と一緒にデザインを公募するデザイン灯台化を進める。
- 若者が興味をそそられる写真文化を踏まえ、歴史的・文化的価値のある灯台を除き、航路標識としての機能への影響がない範囲で写真撮影の背景となる地域の特色溢れるアートペイントを施すなど、新たな魅力を付加する。
- 灯台というイメージに対して意外性のある3Dマッピング等の新しい形のイベントやお祭りなど灯台に多くの人が集う各種イベントの開催を促進する。また、現在イベントが行われていない地域の関係者に対して、各地域で行われているイベントの成功例を積極的に紹介し、灯台の活用方法について更なる周知を図る。
- 映画やドラマのロケ地、またネット動画配信等の背景としての活用を促進し、映画等の鑑賞者を撮影が行われた灯台に誘引する。このため、フィルムコミッション等の関係団体との関係を強化する。